

人間総合科学研究科 看護科学専攻（博士前期課程）

専門基礎科目（看護科学専攻前期）

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EA001	看護科学論	1	2.0	1	春AB	木5, 6	共同B204	川口 孝泰, 森 千鶴	卓越した看護実践の基盤となる看護における諸理論や看護に関する諸理論と看護現象との関係について理解を深める。さらに看護に関する普遍的な法則性の追究、看護の経験的あるいは実証的な合理性の明確化などを通して看護を科学的に探求する。	必修 CNS共通科目A
01EA002	看護科学論	1	2.0	1	春AB	木7, 8	共同B204	川口 孝泰, 森 千鶴	卓越した看護実践の基盤となる看護における諸理論や看護に関する諸理論と看護現象との関係について理解を深める。さらに看護に関する普遍的な法則性の追究、看護の経験的あるいは実証的な合理性の明確化などを通して看護を科学的に探求する。	必修 CNS共通科目A 昼夜制学生に限る
01EA003	看護コミュニケーション論	1	2.0	1	春C	木3-6	共同B204	坂田 由美子, 高田 ゆり子	看護職の基本的な資質である豊かな人間性を発展させ、看護の対象となる様々な生活背景をもつ人々の理解のための理論と方法について教授する。具体的には、自己理解、他者理解を促し、Self-Esteemを高めることに関連する方法として、カウンセリング理論を看護に適用した構成的グループ・エンカウンター、改訂版生活分析的カウンセリング、コラージュ技法などを用いたコミュニケーション論について看護の視点から教授する。	選択必修
01EA004	看護コンサルテーション論	1	2.0	1	春AB	木3, 4	共同B204	岡田 佳詠, 森 千鶴, 三木 明子	看護師を含むケア提供者に対する実践的な問題解決を助けるためのコンサルテーションの概念、過程、タイプとモデル、技法、また、チーム医療における機能と役割に関する知識と技能を教授する。また、コンサルテーションの実際を学び、事例展開を通して、コンサルタントとして必要な総合的な判断力を養いながら探求させる。	選択必修 CNS共通科目A
01EA005	看護学研究法	1	3.0	1	春AB	水2-4	共同B204	川口 孝泰, 安梅 勅江, 阿部 吉樹, 山海 千保子, 萩野 谷 浩美	看護研究における科学的研究プロセスの理解と、その基本的な手法の帰納的・質的研究法、演繹的・量的研究法の研究法論を学際的に教授する。また研究倫理と、具体的な対象者の関わり方について、人間の尊厳を前提とした関わり方、およびそれに基づく研究者としての基本的資質について論じ、看護を科学的に探究する研究方法を教授する。	CNS共通科目A
01EA019	保健統計学	1	2.0	1	春A 春BC	金6, 7 金7	共同B107	山海 知子, 浅野 美礼, 阿部 吉樹	1看護研究の中でも量的研究を実施していく上で必要となる種々の統計学的技法について教授する。扱う内容としては、記述統計、推測統計、統計学的検定、相関、回帰などの統計学の基本的な内容に加え、看護・保健領域で多用されている多変量解析について実例を用いて教授する。2研究計画書の作成の仕方及び研究を計画する際のサンプルサイズや妥当性・信頼性についての検討方法を教授する。	
01EA020	保健統計学	1	2.0	1	春A 春BC	金6, 7 金7	共同B107	山海 知子, 浅野 美礼, 阿部 吉樹	1看護研究の中でも量的研究を実施していく上で必要となる種々の統計学的技法について教授する。扱う内容としては、記述統計、推測統計、統計学的検定、相関、回帰などの統計学の基本的な内容に加え、看護・保健領域で多用されている多変量解析について実例を用いて教授する。2研究計画書の作成の仕方及び研究を計画する際のサンプルサイズや妥当性・信頼性についての検討方法を教授する。	昼夜制学生に限る
01EA008	国際看護学	1	2.0	1	秋C	水1-4	共同B206	安梅 勅江	国際的な視点からみた看護活動、人材育成、組織化、施策化を行うため、健康をめぐる世界動向と課題、国際機関及び国際協力の役割と展望を概観する。 異文化と多様性を科学的・論理的に分析・理解し、当事者主体の倫理に裏づけされたエンパワメント、ネットワーキング、システム構築等を活用した看護実践方法、国際協力実践方法、国際比較研究方法を学ぶ。	
01EA009	看護倫理学	1	2.0	1	春BC	金3, 4	共同B107	水野 道代, 日高 紀久江, 吉岡 洋治, 笹原 朋代, 村井 文江	看護現場において倫理的な問題・葛藤について関係者間での倫理的調整を行うために必要な知識についての総論的知識のレクチャーと事例を用いた討論を行う。	CNS共通科目A
01EA010	看護教育論	1	2.0	1	春BC	火3, 4	共同B204	森 千鶴, 川口 孝泰, 日高 紀久江, 小泉 仁子, 萩野 谷 浩美	看護ケアの質を高めるために必要な看護職への教育的働きかけ、教育環境づくり等、看護の継続教育に関する知識と技術を教授する。	CNS共通科目A

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EA021	フィジカルアセスメント	1	2.0	1	春AB	月1,2	共同B206	日高 紀久江, 柴山 大賀, 山海 知子, 森 千鶴, 三木 明子, 岡田 佳詠, 古谷 佳由理, 清水 理恵, 笹原 朋代	複雑な健康問題を持った対象の身体状況を診査し、臨床判断を行うために必要な知識と技術について学び、専門看護師として臨床判断を行うために必要な知識を深め、技術を学習する。	eラーニング科目を含む科目 CNS共通科目B 国際協力型がん臨床指導者養成プログラム開講科目
01EA022	病態生理学	1	2.0	1	春BC	火1,2	共同B204	水野 道代, 笹原 朋代, 日高 紀久江, 阿部 吉樹	エビデンスに基づき、対象の病態生理学的変化を解釈、判断するために必要な知識と技術について学び、専門看護師として対象の治療及び療養過程を総合的に支援する上で必要な知識と技術を学習する。	eラーニング科目を含む科目 CNS共通科目B 国際協力型がん臨床指導者養成プログラム開講科目
01EA023	臨床薬理学	1	2.0	1	春BC	金1,2	共同B205	森 千鶴, 三木 明子, 岡田 佳詠, 古谷 佳由理, 清水 理恵, 柴山 大賀, 阿部 吉樹	緊急応急処置、症状調整、慢性疾患管理に必要な薬剤を中心に、薬剤使用の判断、投与後の患者モニタリング、生活調整、回復力の促進、患者の服薬管理能力の向上を図るための知識と技術を学習する。	eラーニング科目を含む科目 CNS共通科目B 国際協力型がん臨床指導者養成プログラム開講科目
01EA029	看護教育学	4	2.0	1	春BC	火1,2		森 千鶴, 小泉 仁子, 江守 陽子, 村井 文江	看護専門職者として看護基礎教育にかかわる基礎となる力を養う。看護基礎教育に必要な学習理論、教授方法、教育評価に関する知識を教授する。	助産師課程専攻学生必修
01EA024	地域母子保健論	1	1.0	1	春A	火5,6		江守 陽子, 村井 文江	地域母子保健の意義について理解し、変化する社会における地域母子保健の課題、政策、看護活動について学ぶ。また、地域母子保健における政策的課題を分析し対策すること、および地域母子保健の施策を研究的に分析することを学ぶ。	助産師課程専攻学生必修
01EA025	女性と健康	1	2.0	1	春BC	火5,6		村井 文江, 江守 陽子, 川野 亜津子, 山海 千保子	女性の健康問題を学習し、高度専門職業人として女性の健康を個別的に支援していくために必要な知識とその役割を習得する。	助産師課程専攻学生必修
01EA026	女性の精神保健学	1	1.0	1	春C	木1,2		村井 文江, 森 千鶴, 三木 明子, 江守 陽子, 岡田 佳詠, 小泉 仁子	女性のライフサイクルに伴って変化する精神の健康と健康問題、および妊娠・出産・産褥を経験する女性の精神の健康と健康問題を理解し、アセスメントするための能力を養う。周産期のメンタルヘルスにおけるケアシステムの課題と政策を分析し、研究的視点から考察する力を養う。	助産師課程専攻学生必修
01EA027	生殖生命倫理学	1	2.0	1	春BC	金3,4		村井 文江, 水野 道代, 江守 陽子, 野口 恵美子	助産領域において生じえる倫理的な問題について理解するために必要な知識について総論的なレクチャーを行うと共に、倫理的葛藤に関わる倫理的調整を行うために必要な技能を養うために、事例を用いた討論を行う。	助産師課程専攻学生必修
01EA028	周産期のフィジカルアセスメント	1	1.0	1	春A	金3,4		江守 陽子, 志賀 隆, 村井 文江, 川野 亜津子, 山海 千保子	助産領域におけるエビデンスに基づいたフィジカルアセスメントの知識と技術を習得する。そのうえで、エビデンスに基づいた創造的看護実践についてディスカッションを通して学ぶ。	助産師課程専攻学生必修

専門科目(実践看護学領域)(看護科学専攻前期)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EA150	発達支援看護学特論	1	2.0	1・2	春AB	月5,6	共同B107	江守 陽子, 古谷 佳由理, 村井 文江, 清水 理恵, 川野 亜津子, 山海 千保子	小児の成長発達や親子関係、家族への援助など、また、次世代を生み育てる準備期といえる思春期から成熟期・更年期にかけての女性の健康に焦点を当て、発達支援看護学の視点から科学的根拠に基づいた看護の方法を体系的に把握する。国外の文献を中心に論文講読を行い、子ども・女性・家族の健康と看護に関する最新の研究動向を理解し、看護課題およびそれらを解決・評価する方法や理論を理解する。	CNS専攻分野共通科目
01EA151	発達支援看護学演習I	1	2.0	1	春AB	金1,2	共同B107	江守 陽子, 村井 文江, 川野 亜津子, 山海 千保子	思春期から更年期にある健康リスクの高い女性あるいは健康問題を抱えた女性について、科学的思考を実践に生かすために、より高度な看護活動の方策、研究課題や研究方法、看護実践の質を評価する意義と方法等について理解し、看護実践研究の基礎的能力を修得する。	
01EA104	発達支援看護学演習II	2	2.0	1	春BC	月3,4	共同B107	村井 文江, 江守 陽子, 川野 亜津子, 山海 千保子	思春期から更年期の発達課題にそった健康支援における最新の研究内容および水準を理解し、実践科学として意味のある研究計画を作成する能力を修得する。	
01EA129	発達支援看護学演習III	2	3.0	1	秋ABC	月1,2	共同B107	村井 文江, 江守 陽子, 川野 亜津子, 山海 千保子	母性看護学・助産学領域における看護実践や文献等から研究テーマを見出し、課題に則した研究デザイン、研究計画を検討し、自らが取り組むべき研究課題を探究する能力を修得する。	
01EA130	発達支援看護学演習IV	2	3.0	2	春ABC	月3,4	共同B206	村井 文江, 江守 陽子, 川野 亜津子, 山海 千保子	科学的根拠に基づいたケアを提供するために、周産期および女性の生涯を通じての助産実践について、Evidence-base で思考し、研究していく過程について、母性看護学・助産学分野の研究を例に、講義、討議、および演習を通して学習する。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EA132	助産学特論I	1	2.0	1	春A	月・火 3, 4		村井 文江, 江守陽子	ローリスク妊産婦および新生児・乳児に対して、高度専門職者としての質の高い助産実践と確かな診断をするための知識・技術および問題解決能力を習得する。	助産師課程専攻学生必修
01EA133	助産学演習I	2	2.0	1	春BC	水5, 6		村井 文江, 江守陽子, 川野 亜津子, 山海 千保子	ローリスク妊産婦および新生児・乳児に対して、高度な助産実践者として確かな技術と科学的根拠に基づいた助産ケアのための知識・技術を習得する。	助産師課程専攻学生必修
01EA134	助産学特論II	1	2.0	1	秋A	木3-6		村井 文江, 江守陽子, 川野 亜津子, 山海 千保子	周産期にある母親とその家族の健康問題をめぐる今日的課題を取り上げ、エビデンスおよび理論に基づく援助法と、異常の診断と救急処置、異常分娩介助など緊急時の対応方法について学ぶ。また、事例を通して、ハイリスク状態にある母子と家族の支援に必要な周産期ケアシステムとその組織化などの政策的課題を分析し対策すること、臨床における課題について解決するための研究・教育的基礎能力を養う。	助産師課程専攻学生必修
01EA135	助産学演習II	2	2.0	1	秋A	水1-4	共同B205	村井 文江, 江守陽子, 川野 亜津子, 山海 千保子	身体的、心理・社会的にハイリスク状態にある周産期の母子とその家族の事例を通して、プライマリケアを踏まえ、異常の診断、周産期救急への対応について、質の高いケアを学ぶ。さらに、ハイリスク事例に関する政策的課題を分析し対策すること、ハイリスク事例に関する臨床的課題を研究的に分析することを学ぶ。	助産師課程専攻学生必修
01EA136	助産学特論III	1	1.0	2	春A	木1, 2		江守 陽子, 小泉 仁子, 村井 文江, 吉岡 洋治	母子保健サービスの領域における高度な専門職者に求められる管理能力について学習する。助産管理をするために必要な関連領域の基礎知識について理解するとともに、組織を変革する際に必要な理論について学ぶ。	助産師課程専攻学生必修
01EA137	助産学演習III	2	1.0	2	春A	金1, 2		江守 陽子, 小泉 仁子, 村井 文江	助産の質を評価し保障することについて助産管理の視点から研究的に学習する。	助産師課程専攻学生必修
01EA138	助産学実習I	3	8.0	1	秋BC	集中		村井 文江, 江守陽子, 川野 亜津子, 山海 千保子	ローリスクの妊産婦および新生児の助産ケアを助産のエキスパートとして科学的根拠に基づいた実践が可能となる能力を習得する。また、助産実践の過程を通じて、対象への問題解決能力と個別対応が可能な能力、さらには高度専門職者としての助産観を育む。	火・水・木・金に開講 助産師課程専攻学生必修
01EA139	助産学実習II	3	3.0	2	春B	集中		村井 文江, 江守陽子, 川野 亜津子, 山海 千保子	ハイリスク事例とその家族を対象に、高度な助産実践者として科学的根拠をもって個別対応の助産過程を展開し、可能な範囲でケアの実際に関与する。また、受け持ったケースをレポートにまとめることでケアの質の改善に向けた研究課題や助産基礎教育の在り方、政策的課題を検討する。	助産師課程専攻学生必修
01EA131	養育期家族援助学	1	2.0	1	春AB	月5, 6	共同B204	古谷 佳由理, 涌水 理恵	さまざまな環境や社会的状況下で、こどもを養い育てる時期にあり、援助を必要としている家族に対して卓越した看護、高度な看護を提供できる能力を養うために、健康・不健康を問わずあらゆる健康状態のこどもとその家族についての卓越した知識を習得し、家族の健康および生活に関して幅広いディスカッションをおこなう。	CNS専攻分野共通科目
01EA152	家族看護トランスレーショナル・リサーチ演習	2	2.0	1	秋BC	火5, 6	共同B204	古谷 佳由理, 涌水 理恵	家族看護援助方法に関する最新の研究動向を調査・整理し、そのうえで学生ひとりひとりが家族への独創的な新しい看護援助法を検討し、臨床の場で有効性や安全性の検討、また汎用性を高めるための工夫など日常の看護実践への応用にに向けて、ディスカッションを中心に構成する。	CNS専攻分野共通科目
01EA140	家族看護学特論	1	2.0	1	春AB	火5, 6	共同B204	古谷 佳由理, 涌水 理恵	保健医療福祉制度を含む家族環境の中で、家族看護が国内外で発展してきた過程と家族看護が求められている時代的背景および課題を理解し、家族看護専門看護師として、家族を取り巻く社会や地域、保健医療制度の調整や変革ができる能力を養う。	CNS専攻分野共通科目
01EA141	家族生活アセスメント学	1	2.0	1	春AB	水5, 6	共同B204	涌水 理恵, 古谷 佳由理, 吉岡 洋治, 森 千鶴, 日高 紀久江	家族員の疾病・障害に対する診断・治療を理解しつつ、家族看護の対象である家族を系統的に捉え、家族の健康および生活をアセスメントするために必要な理論および方法とその活用について知識を習得し、理解を深める。この科目ではとくに、家族看護学実践の基礎である家族の健康をアセスメントする能力とその方法を活用する能力の習得に重点を置く。	CNS専攻分野共通科目
01EA142	家族アセスメント/インターベンション学	1	2.0	1	春C	水3-6	共同B204	古谷 佳由理, 涌水 理恵, 岡田 佳詠, 村井 文江, 柴山 大賀	家族員の健康障害に対応した高度看護実践を提供するために家族看護における看護職者の役割と援助姿勢について理解したうえで、事例を通していくつかの特徴的な家族の「機能」「構造」「成長・発達区分」のアセスメントおよび家族員の健康レベルの査定を行う。また、家族員の疾病・障害に対する診断・治療を理解し、治療に参画をしながら、家族の潜在的・顕在的問題である家族症候を特定して、家族看護過程を展開していく。	CNS専攻分野共通科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EA143	家族看護学演習	2	2.0	1	秋AB	月5.6	共同B204	古谷 佳由理, 涌水 理恵	家族の発達段階の特徴を踏まえたうえで家族支援専門看護師による卓越した介入が必要な患者やその家族の健康や生活に関するアセスメント、家族への具体的な看護介入の方法、家族員の健康障害に関わる治療の過程を習得する。	CNS専攻分野共通科目
01EA144	家族看護実践学	1	2.0	1	秋AB	木3.4	共同B206	古谷 佳由理, 涌水 理恵	家族を対象とした看護過程の展開や、家族教育、家族へのサポート、ケースマネジャー、家族カウンセリング、家族療法等の介入方法に関する理論や技法を踏まえた看護介入について、理論を復習しつつ事例をおさえる。また後半では、家族看護学基盤実習と並行して、健康障害を有する家族員の治療の過程を踏まえたうえで、家族に援助計画(看護介入)を立案し、専門看護師の役割・機能に照らし合わせながら科学的に介入を評価する。	CNS専攻分野共通科目
01EA145	家族看護学基盤実習	3	2.0	1	通年	応談		古谷 佳由理, 涌水 理恵	家族看護に関する専門的知識に基づき、家族看護支援専門看護師に求められる役割に対するイメージが形成でき、家族をアセスメントする能力と家族支援の実戦能力の基盤となる能力を家族看護過程の展開を通して習得できる。	CNS実習科目
01EA146	家族看護学展開実習	3	4.0	1	通年	応談		古谷 佳由理, 涌水 理恵	家族看護に関する専門的知識に基づき、健康障害を抱えている家族員と家族のニーズを的確に満たすことができる高度な実践能力、さらに援助成果について科学的に評価できる能力を習得できる。また、家族看護のケア開発能力および倫理的判断能力を習得できる。	CNS実習科目
01EA147	家族看護学統合実習	3	2.0	2	通年	応談		古谷 佳由理, 涌水 理恵	看護科学特別実習および家族看護学実習Iで習得した援助方法を活用して、専門的能力を有する看護師および大学教員の指導のもと、健康障害を抱えている家族員と家族に対して健康障害査定や家族査定の能力および看護介入能力を養う。	CNS実習科目
01EA107	発達支援学特論	1	2.0	1					幼児及び小学生、中学生における不適応状態、発達障害、身体障害、学校場面における諸問題に関する基礎的な知識と指導技術を、文献講読及び事例検討を通して探求させる。	2015年度開講せず。
01EA108	発達支援学演習	2	2.0	1					幼児及び小学生、中学生における不適応状態、発達障害、身体障害、学校場面における諸問題に関する文献、及び実際の事例を通して、幼児、小学生、中学生の心理を学び、その時期にみられる不適応状態、発達障害、身体障害、学校場面における諸問題に関する基本的な知識を得る。それらをもとに議論することを通して、養護教諭としての資質の向上を目指す。	2015年度開講せず。
01EA113	がん看護学特論I	1	2.0	1	春BC	金5.6	共同B204	水野 道代, 笹原 朋代	がん患者の保健行動を理解するために必要な看護理論・基本概念をテーマとして討論を行い、専門的ながん看護を行っていく上で基盤となる主要理論ならびにその活用について探求する。	eラーニング科目 CNS専攻分野共通科目 国際協力型がん臨床指導者養成プログラム開講科目 CNS専攻分野共通科目
01EA153	がん看護学演習I	2	2.0	1	秋AB	木1.2	共同B204	水野 道代, 笹原 朋代	がん患者や家族によくみられる問題をアセスメントし援助方法を導くために、専門的ながん看護を実践する上で基盤となる主要理論を用いた援助プログラムについて探求する。また、その主要理論を活用しながら、がんがもたらすあらゆる苦痛症状及び苦痛を包括的に理解し、エビデンスに基づいてキュアとケアを統合して適切に提供する能力を高める。	eラーニング科目 CNS専攻分野専門科目 国際協力型がん臨床指導者養成プログラム開講科目
01EA111	基礎腫瘍学特論	1	1.0	1	春A	月3.4	共同B204	水野 道代, 笹原 朋代	病態生理学全般の中から、特に、腫瘍の発生・進展プロセス、がんの診断や病期決定・経過観察のために必要な種々の検査方法に関して、がん看護に関連した専門的な知識を深める。	eラーニング科目 CNS専攻分野共通科目 国際協力型がん臨床指導者養成プログラム開講科目
01EA112	臨床腫瘍学特論	1	1.0	1	春A	火3.4	共同B204	水野 道代, 笹原 朋代	病態生理学全般の中から、特に、代表的疾患(腫瘍)の標準治療および症状管理に関して学び、がん看護に関連した専門的な知識を深める。	eラーニング科目 CNS専攻分野共通科目 国際協力型がん臨床指導者養成プログラム開講科目
01EA114	がん看護学特論II	1	2.0	1	秋AB	金5.6	共同B204	水野 道代, 笹原 朋代	がん患者における病名・予告告知、治療の選択、診断、治療、種々の症状に伴う諸問題を的確にアセスメントし、包括的な支援を提供できるための看護援助の方法を学ぶ。	eラーニング科目 CNS専攻分野共通科目 国際協力型がん臨床指導者養成プログラム開講科目
01EA154	がん看護学特論III	1	2.0	1	秋B 秋C	金3.4 金5.6	共同B204	水野 道代, 古谷 佳由理, 笹原 朋代	がんがもたらすあらゆる苦痛症状および苦悩を緩和するために、薬物療法や代替・相補療法などを用いて創意工夫をこらした援助および心理、社会、霊的な援助を、専門看護師の役割と機能を踏まえたうえで行う。	CNS専攻分野専門科目 国際協力型がん臨床指導者養成プログラム開講科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EA155	緩和ケア特論	1	2.0	1	秋AB	水1 金2	共同 B204	水野 道代, 笹原 朋代	がん患者に頻繁に見られる苦痛症状をマネジメントする上で必要な医学的知識を習得し、それらの苦痛症状が患者の身体面、心理面、社会面に及ぼす影響を理解するとともに、症状マネジメントに必要な看護援助を探索する。さらに、がんがもたらすあらゆる苦痛症状および苦悩を包括的に理解したうえで、エビデンスに基づいてケアとケアを統合し、適切に援助を提供する方法を考察し、実践能力を養う。	eラーニング科目 CNS専攻分野専門科目 国際協力型がん臨床指導者養成プログラム開講科目
01EA116	がん看護学演習II	2	2.0	1	秋C	金1-4	共同 B204	笹原 朋代, 水野 道代	看護実践指針の作成を通して、がんがもたらすあらゆる患者の苦痛症状および苦悩を緩和するために、理学療法的介入や心理的支援など創意工夫をこらした包括的な介入を用いて、ケアとケアを統合した援助を行う。	CNS専攻分野専門科目 国際協力型がん臨床指導者養成プログラム開講科目
01EA117	がん看護学実習I	3	2.0	2	春AB	応談		笹原 朋代, 水野 道代	がん診療の場で、医師とともにアセスメント・医学診断を行いながら、患者に必要な医療を判断し、適切な看護援助を提供する力を養う。また、医師の診療に関わる中で機会をみつけ、地域で暮らすがん患者と家族の療養生活を他職種と協力して支援するための援助方法について学ぶ。	CNS実習科目 国際協力型がん臨床指導者養成プログラム開講科目
01EA118	がん看護学実習II	3	2.0	2	春AB	応談		笹原 朋代, 水野 道代	複雑で対応困難な問題を持つがん患者やその家族に対して、エビデンスに基づく高度な専門的知識・技術・判断能力を用いた質の高い看護援助法の開発ができるような能力を習得する。また、実践の場での倫理的判断能力を養う。さらに、地域の保健・医療・福祉サービス機関に従事する様々な職種の役割・機能を理解した上で、地域で暮らすがん患者と家族の療養生活を支援するための援助方法について学ぶ。	CNS実習科目 国際協力型がん臨床指導者養成プログラム開講科目
01EA128	がん看護学実習III	1	4.0	2	春AB	応談		笹原 朋代, 水野 道代	がん看護専門看護師の役割(相談・調整・教育・倫理調整)を実践の場で遂行できる能力を習得する。	CNS実習科目 国際協力型がん臨床指導者養成プログラム開講科目
01EA119	健康障害看護学特論	1	2.0	1・2	春BC	月3,4	共同 B204	森 千鶴, 岡田 佳 詠, 三木 明子	専門性の高い精神看護を行う上で必要な精神保健医療福祉に関する制度と体制、精神的な問題を抱えた人の精神・身体状態の評価に必要な理論と方法について講義及び学生自身のプレゼンテーション、討議を通して習得させる。	CNS専攻分野共通科目
01EA120	健康障害看護学演習	2	2.0	1	秋AB	木6,7	共同 B206	岡田 佳詠, 森 千 鶴, 三木 明子	精神的な問題を抱えた人とその家族に対して、専門性の高い精神看護を展開する上で必要な精神領域の治療に関する理論と方法、看護介入の理論と方法について、講義と演習、討議、また学生自身のプレゼンテーションを通して習得させる。	CNS専攻分野共通科目
01EA121	精神看護学特論I	1	2.0	1	春BC	木1,2	共同 B204	岡田 佳詠, 森 千 鶴, 三木 明子	精神看護の専門看護師として、ケアとケアを融合した高度な実践に必要な精神保健医療福祉の制度と体制に関する知識、精神的な問題を抱えた人とその家族の理解および精神・身体状態の評価に必要な基礎的理論と方法について、講義及び学生自身のプレゼンテーション、研究論文のクリティック、討議を通して習得させる。	CNS専攻分野共通科目
01EA122	精神看護学特論II	1	2.0	1	秋AB	水1,2	共同 B207	岡田 佳詠, 森 千 鶴, 三木 明子	精神看護の専門看護師として、ケアとケアを融合した高度な実践に必要な精神科薬物療法と精神療法に関する概論と各論について、講義および事例や最新の研究に関する学生自身のプレゼンテーション、討議を通して習得させる。	CNS専攻分野共通科目
01EA148	精神看護学特論III	1	2.0	1	秋C	木		岡田 佳詠, 森 千 鶴, 三木 明子	精神看護の専門看護師として、慢性期精神疾患患者へのケアとケアを融合した高度な看護実践を展開するために必要な理論と方法について、講義および事例展開、最新の研究に関する学生自身のプレゼンテーション、討議を通して習得させる。	CNS専攻分野専門科目
01EA123	精神看護学演習I	2	2.0	1	秋AB	月6,7	共同 B206	三木 明子, 森 千 鶴, 岡田 佳詠	精神看護の専門看護師によるケアとケアを融合した高度な看護介入が必要な患者やその家族に対するアセスメントと具体的な看護介入方法、精神療法による介入方法について、事例展開と討議を通して習得させる。	CNS専攻分野共通科目
01EA124	精神看護学演習II	2	2.0	1	秋C	木1-4	共同 B206	森 千鶴, 岡田 佳 詠, 三木 明子	精神看護の専門看護師に必要な機能と役割である、実践、コンサルテーション、倫理調整、コーディネーション、教育、研究活動について、事例の分析とエビデンスに基づく援助計画の立案、討議を通して習得させる。	CNS専攻分野共通科目
01EA125	精神看護学実習I	3	4.0	1	秋BC	応談		岡田 佳詠, 森 千 鶴, 三木 明子	ケアとケアを融合した高度な精神看護実践に必要な精神看護に関連する理論・技法に基づき、また精神看護学演習Iで立案したケアプランに沿って、専門性の高い看護ケアを実施し、科学的視点から評価を行う。精神看護専門看護師としてケアとケアを融合した高度な看護実践能力を習得させる。	CNS実習科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EA149	精神看護学実習II	3	4.0	2	春ABC	応談		岡田 佳詠, 森 千鶴, 三木 明子	精神看護学実習I、看護科学特別実習(CNS役割実習)を基盤とし、精神看護学実習II、精神看護学特論IIIで立案したケアプランに沿って、慢性期精神疾患患者に対してケアとキューを融合した高度な看護ケアを実施し、科学的視点から評価する。慢性期精神疾患患者のQOLの向上をめざしたケアとキューを融合した高度な看護実践能力、さらに援助成果について科学的に評価できる能力を習得させる。	CNS実習科目

専門科目(健康システム看護学領域)(看護科学専攻前期)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EA201	地域健康システム看護学特論	1	2.0	1・2	春AB	水5,6	共同B206	高田 ゆり子, 安梅 勲江, 坂田 由美子, 山海 知子, 吉岡 洋治, 我妻 ゆき子	地域で生活する人々への健康支援活動に必要な看護理論、基本概念、看護技術について、公衆衛生看護学や保健医療に関する最新の研究成果を題材として学習し、生活の質の向上を目指した地域の健康システム看護について教授する。	
01EA202	地域健康システム看護学演習I	2	2.0	1	秋AB	月2,3	共同B206	高田 ゆり子, 坂田 由美子	地域社会で生活する人びとの健康増進や疾病予防などに関する地域看護学の課題と動向を体系的に把握するために、国内外の文献を講読し、また臨地の場での実践を通して一次予防に焦点をあてた地域看護のよりよい実践方法や研究への適応の可能性について探求させる。	
01EA204	地域健康システム看護学演習II	2	2.0	1	秋AB	水2,3	共同B206	安梅 勲江, 吉岡 洋治	臨地の場での実践や地域看護理論やモデルを踏まえ、国内外の文献を講読し、住民(高齢者・障がい者・子ども)のヘルスプロモーションとエンパワメントの視点からより良い地域看護の実践方法やシステム構築に関する研究への適応の可能性について科学的根拠とともに探求させる。	
01EA206	地域健康システム看護学演習III	2	2.0	1	秋C	木3-6	共同B204	坂田 由美子, 高田 ゆり子, 山海 知子	地域で生活する人びとの健康課題とそれに対応する地域での具体的な看護活動に関する課題と動向を把握するために、臨地の場での実践および国内外の文献を講読し、人々の健康を維持増進するためのよりよい実践方法や研究への適応の可能性について科学的根拠とともに探求させる。	
01EA207	環境調整看護学特論	1	2.0	1・2	春AB	月1,2	共同B204	川口 孝泰, 日高 紀久江, 浅野 美礼	看護の主要な概念である「環境」の意義や調整する方法について、対象が安全・安楽に過ごすための物理的環境、人的環境、管理的環境、ならびに生体環境への働きかけに関して、看護学的な視点を体系的に学ぶとともに、看護技術の原理や工夫について、その科学的な根拠を明らかにしながら教授する。	
01EA208	環境調整看護学演習I	2	2.0	1	秋AB	月1,2	共同B204	川口 孝泰, 浅野 美礼	環境調整看護学特論で学んだ看護理論を背景として、環境調整の手法について、国内外の文献を講読した上で、臨床のフィールドに向いて、いくつかの実験的な検証を試みる。その結果に基づいて看護実践における環境調整の役割と、科学的根拠の実証、その専門性について探求させる。	
01EA223	生体調整看護学演習	2	2.0	1	秋B	火2-5	共同B205	日高 紀久江	生体機能の調整を促進する看護技術の評価に関する国内外の論文を精読し、研究の目的、方法、評価指標、結果についての理解と、それらの研究の意義、問題点、課題について討論する。	
01EA224	生体調整看護学演習	2	2.0	1	秋AB	金7,8	共同B205	日高 紀久江	生体機能の調整を促進する看護技術の評価に関する国内外の論文を精読し、研究の目的、方法、評価指標、結果についての理解と、それらの研究の意義、問題点、課題について討論する。	昼夜制学生に限る
01EA216	慢性看護学I特論	1	2.0	1	春BC	水5,6	共同B205	柴山 大賀, 日高 紀久江, 阿部 吉樹	慢性病者や家族が抱える慢性病特有の複雑で解決困難な問題とその背景および、そのような状況におかれる人々の行動理解に役立つ諸理論を学ぶ。	CNS専攻分野共通科目
01EA217	慢性看護学II特論・演習	1	2.0	2	春A	火3-6	共同B206	柴山 大賀, 日高 紀久江, 阿部 吉樹	慢性病者の複雑な状態の身体・心理社会面を含めた包括的アセスメントについて学ぶ。	CNS専攻分野共通科目
01EA218	慢性看護学III特論	1	2.0	1	秋AB	木3,4	共同B204	日高 紀久江, 柴山 大賀	慢性病の様々な変化する時期に対応した支援技術の理論と方法について理解する。	CNS専攻分野共通科目
01EA219	慢性看護学III演習	2	2.0	1	秋AB	木5,6	共同B204	日高 紀久江, 柴山 大賀, 阿部 吉樹	ロールプレイや演技演習を通して慢性病の様々な変化する時期に対応した支援技術を習得する。	CNS専攻分野共通科目
01EA225	慢性看護学IV特論	1	2.0	1	春BC	木1,2	共同B206	日高 紀久江, 安梅 勲江, 川口 孝泰, 柴山 大賀, 吉岡 洋治	慢性病者に適用される医療・福祉の制度や体制、および質の高い生活に向けた地域社会支援の革新の方策とその評価方法について学ぶ。	CNS専攻分野共通科目
01EA226	慢性看護学V特論	1	2.0	1	秋BC	水2,3	共同B204	柴山 大賀, 日高 紀久江, 阿部 吉樹, 山海 知子	慢性病者の治療環境を質の高い生活に向けて調整する方策とその評価方法の理論と実際について学ぶ。	CNS専攻分野共通科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EA227	慢性看護学V演習	2	2.0	2	秋ABC	応談		柴山 大賀, 日高 紀久江, 阿部 吉樹	慢性病者の治療環境や地域社会での療養生活の質を高めるために必要な調整の方策の実践について学ぶ。	CNS専攻分野共通科目
01EA220	慢性看護学実習I	3	4.0	2	通年	応談		柴山 大賀, 日高 紀久江, 阿部 吉樹	慢性病者の基本的な医学的評価・判断に基づく薬物療法や医療処置の管理についての理解を深め、治療環境や地域社会での療養生活の質を高めるために必要な調整の方策の実践について学ぶ。	CNS実習科目
01EA228	慢性看護学実習II	3	4.0	2	通年	応談		柴山 大賀, 日高 紀久江, 阿部 吉樹	多様な治療環境(病棟・外来・地域)において支援対象者を設定し、入院から退院後にわたる支援を継続することにより、慢性看護専門看護師の役割機能を各自の専門領域に関して実践する。	CNS実習科目

専門科目(共通)(看護科学専攻前期)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EA401	インターンシップ	3	2.0	2	通年	応談		安梅 勅江, 江守 陽子, 川口 孝泰, 坂田 由美子, 高田 ゆり子, 日高 紀久江, 水野 道代, 森 千鶴, 浅野 美礼, 岡田 佳詠, 山海 知子, 柴山 大賀, 古谷 佳由理, 三木 明子, 村井 文江, 吉岡 洋治, 涌水 理恵, 阿部 吉樹, 川野 亜津子, 笹原 朋代, 山海 千保子, 杉本 敬子, 萩野谷 浩美	看護実践経験を持たない学生に対して、看護を科学的に捉える実践経験の場とすることを目的とする。学生は病院、学校、保健所・保健センター、訪問看護ステーションなどで自らの課題に応じた計画を主体的に実践、評価し、看護科学特別研究に繋がるように探求する。	選択必修
01EA402	看護科学特別実習	3	2.0	2	通年	応談		安梅 勅江, 江守 陽子, 川口 孝泰, 坂田 由美子, 高田 ゆり子, 日高 紀久江, 水野 道代, 森 千鶴, 浅野 美礼, 岡田 佳詠, 小泉 仁子, 山海 知子, 柴山 大賀, 古谷 佳由理, 三木 明子, 村井 文江, 吉岡 洋治, 涌水 理恵, 阿部 吉樹, 川野 亜津子, 笹原 朋代, 山海 千保子, 杉本 敬子, 萩野谷 浩美	看護学における高度専門職業人になるための自分自身の課題を明確にし、自己成長するために、看護職としての自分自身の現状をアセスメントし、個人の現状に合致した場において課題を設定し研究的視点を持ちながら実践する。さらにそこで得られた知見は、臨地における実証的研究として特別研究につなげられるように探求させる。	選択必修 CNS実習科目 国際協力がん臨床指導者養成プログラム開講科目 (受講生を限定)
01EA403	看護科学特別研究	7	4.0	2	通年	応談		安梅 勅江, 江守 陽子, 川口 孝泰, 坂田 由美子, 高田 ゆり子, 日高 紀久江, 水野 道代, 森 千鶴, 浅野 美礼, 岡田 佳詠, 山海 知子, 柴山 大賀, 古谷 佳由理, 三木 明子, 村井 文江, 吉岡 洋治, 涌水 理恵	実践看護学領域、地域健康システム看護学領域、環境看護学領域での課題研究の論文指導を行う。科学的視点から文献検索、研究計画書の作成、研究デザイン、データ収集、データ解析、結果の考察、倫理的配慮など一連のプロセスを通して修士論文作成の研究指導を行う。	必修